

「業界研究'16ー'17」が2月25・26日

金融や不動産、鉄道、マスコミなど各業界の最新情報をつかみ、志望動機や自己PRの作成など就活全般に生かしてもらうイベント「業界研究'16ー'17」が2016年2月25と26日の両日、大阪新卒応援ハローワークで開かれる。一日8社が参加し、現在業務の最前線にいる社員らが各業界の現状や今後の見通し、所属企業での仕事のやりがいなどを語る。就活もいよいよ解禁間近。現場で働く社員らの生の声を聞き、自身の仕事選びに生かして欲しい。参加企業は表の通り（五十音順）。

対象は大学・大学院 短期大学、専門学校等の在学生や

留學生、35歳未満の就職活動中の方。時間は両日とも午後

25日（木）

エイチ・アイ・エス（旅行）

北おおさか信用金庫（金融）

公益財団法人 田附興風会 医学研究所
北野病院（医療）

人事院 近畿事務局（公務）

住友不動産販売（不動産）

鶴見製作所（ポンプ製造販売）

帝国ホテル（ホテル）

ユニバーサルコンピューター（ICT）

最前線の社員、企業の今を語る

26日（金）

朝日新聞社（マスコミ）

大阪市役所（公務）

大阪府警察（警察）

関西アーバン銀行（金融）

神戸屋（食品）

住友建機販売（建設機械）

阪急電鉄（鉄道）

レナウン（アパレル）

学ハロ大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
http://osaka-young-site.mhlw.go.jp

第28号

2016年2月19日

f 大阪新卒応援ハローワーク



3 憧れの客室乗務員
粘りで掴んだ夢
拡大RMB第10弾
4 3・4は4月入社編



「ESや面接、こうしたら受かるで」就活ミーティング

「ES（エントリーシート）やSPIなど筆記試験はどう準備したか」。「SPIは苦手で勉強もなかなか進まなかった。無理しても仕方がないので一定の目標を立て、カフェで1時間は集中して頑張った」。「ヒントをつかもう 教えて先輩 就活ミーティング」が1月27日と2月15日、大阪新卒応援ハローワークで開かれた。お手製の就活ノートを手には、チューター役の先輩と就活生が熱心に語り合った。写真。

当所を利用し大手銀行や鉄道、航空会社、小売業、製造業などに内定した先輩が、これから就活の本番を迎える後輩に自らの体験談をホンネで語った。就活生が先輩を囲み、会社説明会のポイントや仕事選びの勘所、髪型や服装、表情の作り方などを熱心に質問し、会場は熱気に包まれていた。

●2面に詳細

を考えるヒントになればと思います」と話している。

事前予約や問い合わせは大阪新卒応援ハローワーク、電話06（7709）9455と相談窓口で受け付けている。

12時半から受け付けを始める。説明会は午後1時、2時、3時、4時の計4回実施される。各ブースで業界や会社の説明が30分、質疑応答が15分となっている。カジュアルな服装で

2017年卒生向けイベント、ぜひ

グループディスカッション（GD）は金融やメーカー、航空、マスコミ、国家・地方公務員の採用試験に導入されている。セミナーでは、テキストを用いた座学と参加者による実践でGDのポイントをつかむⅡ写真①。ビデオで話す表情もチェックする。GDの三箇条は①自分の役割をこなす②他人の役割を支援する③時間内に一定の意見をまとめる。自分の意見を主張するとともに、他人の意見を

グループディスカッション（GD）



耳を傾け、グループでの役割を果たせるか。グループが一体化できる環境をどうつくるか。そして時間内に一定の意見をまとめよう。3月は10、18、25日に開く。

離職率が低い大阪の中堅・中小企業が集まる「リアル就活のススメ in 業界・企業のホンマ展」が2016年3月17日、大阪市中央区の大阪マーチャンダイズ・マートで開かれる。ネット就活では知ることのできない×会えない企業40社が参加する。

3月から2017年卒の就活が本格化するのに合わせたイベント。事業内容や労働条件、実際の職場環境や人間関係、業界の裏話を採用担当者から直接、聞ける。

参加企業は離職率10%未満、若者の採用、育成に積極的、ワークライフバランスを推進している企業だ。

時間は正午から受け付けを開始。午後1時から午後5時まで行われる。参加企業名は大阪新卒応援ハローワークのHPで公開される。



3月17日業界・企業展に40社

その給与や休日数、ホンマでっか

「敬語が上手く使えない」「電話でのやり取りが苦手」という方には話し方好感度UP講座がお勧めだ。第1部は実際に声を出して発声のコツや表情のつくり方を学ぶ。第2部は電話対応のロールプレイング。「企業に求人応募の電話をかける」など実際にある電話対応のパターンを講師と一緒に実践で学ぶ。言葉を通じて好印象を残すポイントはどこか。ぜひ、体験を。3月2日午後2時から4時。参加予約を受付中。

敬語表現や電話対応のマナー、今のうちに習得を。

●記事1面から続く

「あいさつは絶対、大事で。説明会では、大きな声で『ありがとうございました』といいや。礼儀がしっかりできれば、顔も覚えてもらえる」。計2回の就活ミーティング

では、ホンネで語る先輩の姿に、後輩が熱い視線を送った。志望動機や自己PRの作成、SPI攻略法、お辞儀やあいさつなど面接時の立ち居振る舞いについてのリアルな体験談に、参加者は釘付けとなったⅡ写真②。

志望動機について銀行に内定した女性は「会社説明会

就活ミーティング、厚労省副大臣が視察



2月25・26日はぜひ業界研究を

今号の学ハロ大阪新聞では、1月と2月に開催した「就活ミーティング」について取り上げました。内定を獲得した4回生の先輩から就活体験談を聞けるイベントで、就活の流れについて理解を深めることが出来たのではと思います。多くの質問の中に業界研究の進め方というのもありました。2月25・26日に企業の広報担当者らが業界の最新情報を語るイベント「業界研究'16-17」を開催します。2日間で最大8業界の説明を聞くことが出来るイベントです。就活のきっかけづくりにぜひ、ご参加ください。

ぜひ覗きや。そこで行員の方と直接、話が出来るのが大きいよ。特に私はたくさん質問をした。仕事の難しさやりがいい、社風の良さは会話の端々から伝わってくる。そんな経験したネタだけをESに

航空、商社志望の女子大生は「狭くなりがちな視野が広がってよかった」。また別の参加者は「前向きに努力する人が夢をつかむのだ、と分かったと話していた。

書いた」とノートに説明。印刷紙製会社の女性は「友人が次々、内定すると正直焦る。でも周りは周り。いかに自分のペースを守るかが大事やで。会社説明会に出るのがしんどくなったら、休んでもええよ。マイペースやで」とエールを送っていた。2月15日には厚生労働省の渡嘉敷奈緒美副大臣が、セミナーを視察し、就活生に話掛ける姿も見られたⅡ写真③。

ESや面接は自分に取り組んできた「普通」のことを素直に話そう。 面接突破3箇条①眉毛を動かし、表情豊かに②笑顔全快③笑いを取れ。 夢だからやるしかない。JSと一緒に考えてくれたことが嬉しかった。

スカーフを靡かせ颯爽と空港内を歩く。テレビドラマで見たキャビンアテンダント（CA）が夢だった。だが現実とは違う。不採用が続く「やっぱり憧れで終わるのか」。そんな時、大阪新卒応援ハローワークでCA出身のJSと出会う。「自己PRと一緒に考えてくれた。これが最後との思いで秋の採用試験に臨んだ」。そして一。

同志社大学文学部英文学科 4回生

2月15日の就活ミーティング、チューター

「CAは小学4年からの夢。それが就活で現実になった。喜びが今、じわじわと込み上げている」。航空会社の客室乗務員に内定した。採用後は国内線を中心に大空を駆け巡る。

大学の傍ら春と秋にエアラインスクールにも通った。週1回3時間の授業だ。スーツの着こなしや立ち居振る舞い、時事問題から航空各社の歴史、数学の問題まで解いた。

「CAは狭き門。就職先をエアラインだけに絞って大丈夫か。本当に自分はCAになれるのだろうか」。とりわけ秋のクラスはみな仲間であり、ライバルでもあったと感じた。

苦心したのは自己PR。面接では30秒で答えよ、というケースが多く当初はテニスサークルの話していた。だが「どうも話にまとまりがなくて。自分を素直に語ることができなかった」。結局、大手航空会社の採用試験は軒並

では添削で直されても何がダメなのかは自分で考えなければならなかった。これでいいのかという不安を抱えたまま、面接を受けていた、という。

だが、JSは違った。「自己PRをわがことのように一緒に考えてくれた。その姿が嬉しかった」。自己PRは飲食店でのアルバイトの話に内容を一新。お客様との距離を



的に話しかければいろんな世界が見える。接客を通じて人と関わる面白さに、改めて気付いた」。自身が乗務する小型機はお客様と近い。「国内線のCAは親しみが持てる人物を求めているはず。私の強みと会社の求める人物像がマッチングするのではないか」。

そして10月。これが最後との思いでCA試験に臨む。面接には友人がくれた3つのアドバイスを実践した。①表情が伝わるよう眉毛を動かして話せ②入退室は扉の前で思いっきりの笑顔を③笑いを取れ。「CAはみな、おでこを出している。①は眉毛を動かすことで表情がより豊かになる③は面接が朝一番の午前10時だった。『なぜこの時間を選んだのか』との質問に、朝が強く中・高と陸上部で朝ご飯をしっかりと食べる習慣が身に付いた。ちなみに今朝食べたのは…と食欲に引っ掛け話すと笑いが起きて一」。がっちり固まった自己PR。いつしか自信が漲っていた。以前とは違う自分がそこにいた。

憧れのCA、粘りでつかみテイク・オフ

み不採用に。内容をしっかり固めきれなかったのが最後まで響いた。

友人は次々と内定する。焦りから金融や不動産会社にも手を広げた。昨年8月ごろは午前東京で不動産会社の面接。終了後、直ちに新幹線で帰阪し夕方から別の会社の面接へ。翌日は再び東京で午前面接一と、馬車馬のように会場を駆け回った。料金が安いからと夜行バスを使ったが眠れなかった。暑くて体力も消耗し疲れから体調を壊すことも。

「これから、どうすれば…」。

そんな時、友人から大阪新卒応援ハローワークの利用を勧められた。

「まさかCA出身のJS（ジョブサポーター）がいるなんて」。スクール

縮めるために自分はどんな努力をしたのかを軸に据える。「お客様と友人になれるような関係を築く。お顔を覚えるとともに給仕では、お客様の様子をしっかりと見て、間を考えながらメニューを提案した。カップルにはワインを注ぐ瞬間や食事の提供時に、積極的に話しかけた。タイミングと間の工夫。その経験がCAの接客業務に生かれます」と。

この内容に変えてから、企業の反応が良くなった。「ナンバー1になった話など数字で話さなきゃと思いこんでいたが、むしろ、自分に取り組んできた普通の話でいいんだと分った」。加えて、人懐っこいと周囲から言われる性格も奏功する。「自ら心を開き積極

会社から内定の電話があった時、思わず泣いてしまった。泣きながら話していた。「『あなたは第一印象にインパクトがあって…』という担当者の言葉までは覚えているが、その後の記憶はない。しばらく言葉がでなかった」。

スクールを含めると2年近くの就活だった。「振り返れば家族の支援が大きかった」。10月には最愛の祖母を亡くす。「諦めない私をCAに導いてくれたんだ」。今は、支えてくれた方への感謝の気持ちでいっぱい。

「夢だからやるしかない」。諦めずに掴んだ道だから言える言葉だろう。

「自分はこんな人間で、御社に入社したらこう働けます。そう言える自分になった」。就活で成長した証だ。

3月4日、4月入社編に11社

拡大RMB第10弾は4月入社編一。大阪新卒応援ハローワークは3月4日午後1時から恒例の拡大版RMB（レギュラーマッチングブース）説明会・面接会を開く。今回は4月入社に合わせ選考スケジュールを立てている企業11社が参加予定。内定の獲得に早い遅いは関係ない。結局、入社は4月から。多くの企業は依然、採用意欲は高い。ぜひ、あなたの1社に出合って欲しい＝写真はPRポスター。

拡大第10弾

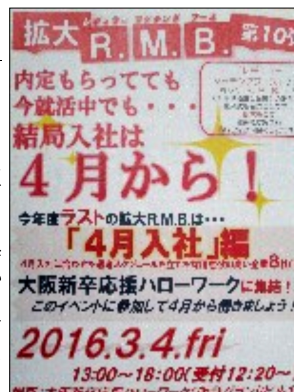
内定に早い遅いは関係ねえ。結局、入社は4月だろ。

事務職編に173人 拡大第9弾

拡大RMB第9弾「事務職編」が2月5日、大阪新卒応援ハローワークであり、就活生173人が参加、意中の企業の説明会に臨んだ＝写真は会場風景。

会場には大手のトラック・バス及び部品の販売会社、電気や空調、衛生設備の設計・積算をする会社、自由設計の一戸建て分譲住宅、新

企業側が事業内容と採用フローを説明する。1回45分の完全入れ替え制で途中の入退室は



不可。途中、参加企業によるプレゼンテーションもある。参加企業は次の通り。
総合警備保障【CMで有名なALSOK。法人及び個人に対する各種セキュリティサービス業。営業職は女性が活躍】
営業 技術 警備（機械警備業務 警備輸送業務）▼ケービックス【人材派遣会社で大阪支社勤務】提案型営業、部署・現場内管理の事業管理は事務所内での勤務▼ジョブラックス【プラスチックジョイントなどの製造販売。東京、名古屋に転勤の可能性】管理事務▼大阪ボイラー製作所【船用ボイラでは納入・生産台数トップ。総務部員は将来の幹部候補生を】アフターサービ

ス、現業・工程間の溶接部非破壊検査員、技術設計、総務部員▼マキユリー大阪支店【セールスプロモーション全般の企画・運営。平均年齢20歳代と若い。留学生採用の実績あり】総合職▼錢屋アルミニウム製作所【電気機器部品等の製造。語学を生かし海外赴任も】営業▼不二電機【大手家電メーカーなどの製品を扱う電気総合商社】ルート営業兼配送、一般事務▼善友金属【薬品など各種化粧缶を扱う。年間休日124日】営業▼富安金属印刷【コーヒー缶や各種キャップ製容び印刷】営業▼サラダカフェ【デパ地下でのサラダ、惣菜の販売】販売【関西と関東】▼島田商会【鉄鋼総合卸売商社。創業百年の老舗】営業

説明会の合間には、参加する4社の担当者が自社をPRするプレゼンテーションを就活生の前に実施＝写真④。「ぜひウチのブースを覗いてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています」とアピールした。会場の受付では、就活生のコートを預かる臨時のクロークがお目見え。JSが「コートを預かりますよ。貴重品はポケットに残していませんか」などと声を掛けていた。

コート預かり、肩の荷下ろして



築分譲住宅の企画販売会社、航空貨物や海上貨物のほか通関、倉庫管理も取り扱う国際貨物輸送代理店など計10社が参加した。

各ブースでは、採用担当者が会社の特長や事業内容、募集職種、求める人物像、福利厚生面について詳しく説明した。参加者はメモを取るなど真剣な表情で意中の会社の説明会に臨んでいた＝写真⑤。



説明会の合間には、参加する4社の担当者が自社をPRするプレゼンテーションを就活生の前に実施＝写真④。「ぜひウチのブースを覗いてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています」とアピールした。会場の受付では、就活生のコートを預かる臨時のクロークがお目見え。JSが「コートを預かりますよ。貴重品はポケットに残していませんか」などと声を掛けていた。